

IoT時代だからこそ あらためて知る情報処理技術者試験

独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）
IT人材育成センター
国家資格・試験部

情報処理技術者試験とは？

「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験

試験の目的

1. 情報処理技術者に目標を示し、刺激を与えることによって、その技術の向上に資すること。
2. 情報処理技術者として備えるべき能力についての水準を示すことにより、学校教育、職業教育、企業内教育等における教育の水準の確保に資すること。
3. 情報技術を利用する企業、官庁などが情報処理技術者の採用を行う際に役立つよう客観的な評価の尺度を提供し、これを通じて情報処理技術者の社会的地位の確立を図ること。

試験区分一覧

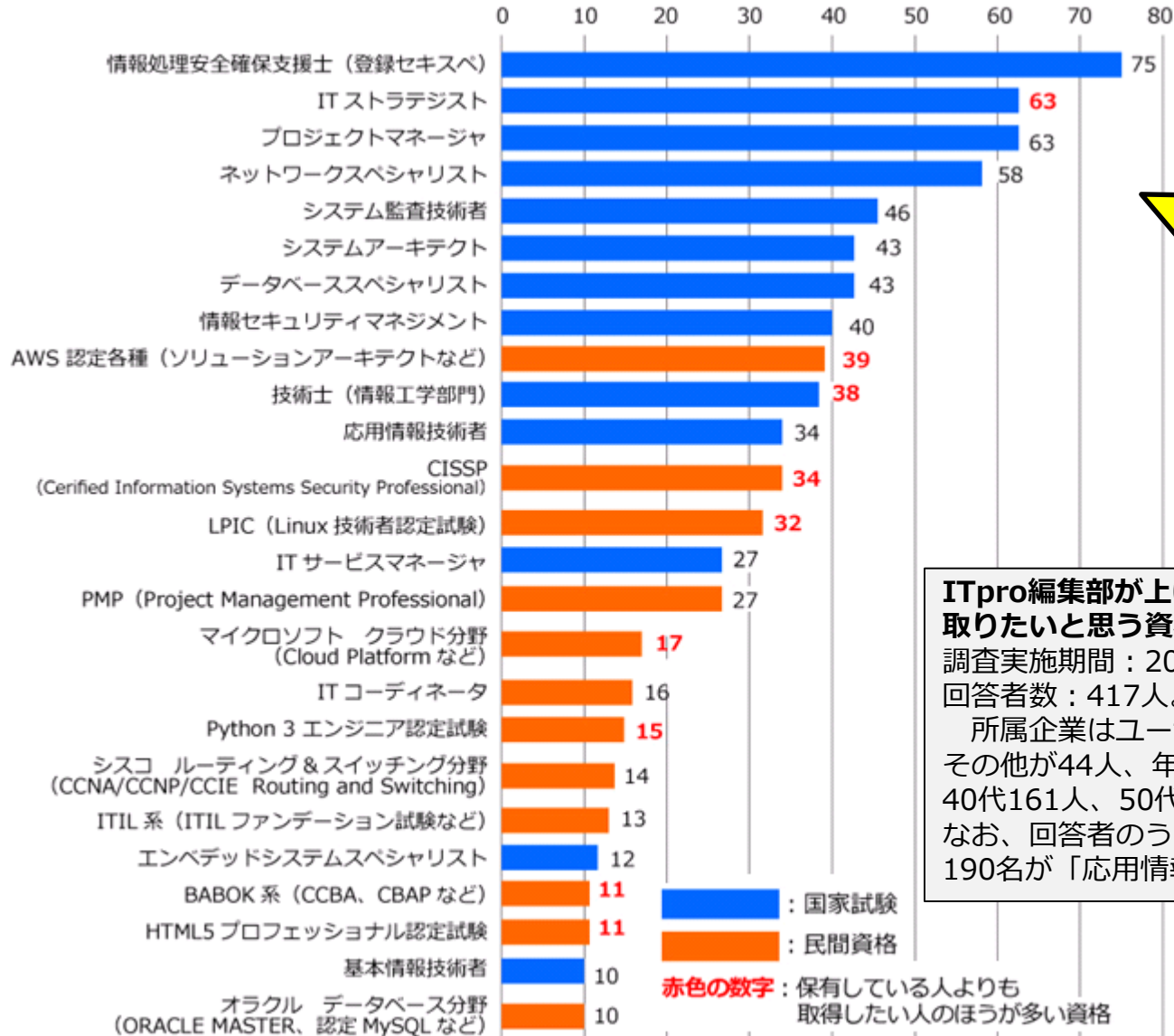
**応募者数累計
1990万人超！**

(2018/9時点)

ITを利活用する者		情報処理技術者								情報処理安全確保支援士 (登録セキスペ)試験		
ITの安全な利活用を推進する者		高度な知識・技能	システムアーキテクト試験 (SA)	プロジェクトマネージャ試験 (PM)	ネットワークスペシャリスト試験 (NW)	データベーススペシャリスト試験 (DB)	エンベデッドシステムスペシャリスト試験 (ES)	ITサービスマネージャ試験 (SM)	システム監査技術者試験 (AU)	情報処理安全確保支援士 (登録セキスペ)試験 (SC)	安全な情報システムを設計、開発、運用するための 情報セキュリティに関する知識・技能	
ITの安全な利活用を推進するための基本的知識・技能												情報セキュリティ マネジメント試験 (SG)
全ての社会人												
ITを活用するための 共通的基础知識		応用的知識・技能	応用情報技術者試験 (AP)									
		基本的知識・技能	基本情報技術者試験 (FE)									

※情報処理安全確保支援士試験合格者は、所定の登録手続きを行うことで、国家資格「情報処理安全確保支援士(登録セキスペ)」の資格保持者となることができます。

[IT資格実態調査] これから取得したい資格



上位8位までを
情報処理技術者試験
が占める！

ITpro編集部が上げたIT資格(45種類)の中から、
取りたいと思う資格を最大三つ選んでもらった結果
調査実施期間：2017年7月7日～7月24日
回答者数：417人。

所属企業はユーザー企業が130人、IT企業が243人、
その他が44人、年齢は、20代以下32人、30代119人、
40代161人、50代88人、60代以上17人。
なお、回答者のうち241名が「基本情報技術者」、
190名が「応用情報技術者」を保有している。

自動車、家電、モバイル機器などに搭載する組み込みシステムを、ハードウェアとソフトウェアを適切に組み合わせて構築し、求められる機能・性能・品質・セキュリティなどを実現できる組み込みエンジニアを目指す方に最適です。

対象者像

高度IT人材として確立した専門分野をもち、組み込みシステム開発に関係する広い知識や技能を活用し、最適な組み込みシステム開発基盤の構築や組み込みシステムの設計・構築・製造を主導的に行う者

期待する技術水準

要求される機能、性能、品質、信頼性、セキュリティなどをハードウェアへの要求とソフトウェアへの要求に適切に分解し、最適な組み込みシステムとして実現するため、次の知識・実践能力が要求される。

- (1) 機能仕様に基づき、ハードウェアとソフトウェアの適切な組合せを実現し、組み込みシステム開発における各工程を主導的に遂行できる。
- (2) 特定の技術・製品分野についての高度で専門的な知識、開発経験を基に、開発する当該分野の専門家から技術上の知識を獲得して、組み込みシステム開発の各工程に反映できる。
- (3) 組み込みシステム開発を行う上で効果的な開発環境の構築と改善ができる。

試験日	春期 (4月)
合格率	17.9%

(2017年度実績)

	午前 I	午前 II	午後 I	午後 II
試験時間	9:30～10:20 (50分)	10:50～11:30 (40分)	12:30～14:00 (90分)	14:30～16:30 (120分)
出題形式	四肢択一	四肢択一	記述式	記述式
出題数 解答数	出題数：30問 解答数：30問	出題数：25問 解答数：25問	出題数：3問 解答数：2問	出題数：2問 解答数：1問

平成30年度春期 エンベデッドシステムスペシャリスト試験 午後 I 問題

問3 無人自動運転トラックを含むトラック隊列走行システムに関する次の記述を読んで、設問1～3に答えよ。

C社は、トラック隊列走行システム（以下、隊列走行システムという）の開発を行っている。隊列走行システムは、高速道路において、運転手が先頭車両を運転し、無人の後続車両が先頭車両に自動で追従して隊列走行を行うための運転制御システムである。隊列走行は、先頭車両を含めた最大4台のトラックで構成される。隊列走行の様子を図1に示す。

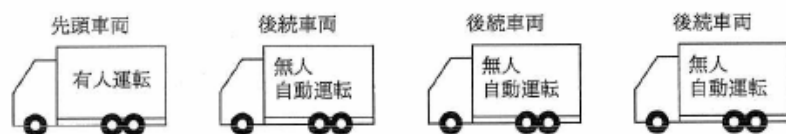


図1 隊列走行の様子

[隊列走行システムを使用した隊列走行の方法]

隊列走行システム専用のトラックステーション（以下、ステーションという）が高速道路のパーキングエリアに併設されている。隊列走行は、このステーションだけで行い、各車両の出発地点からステーションまで及び最後のステーションから目的地までは有人運転で走行する。ステーションに到着した車両は2～4台ごとにとめられ、自車の前方及び自車の後方の車両の情報を設定することによって隊列に組む。隊列となった後続車両は、無人かつ自動で車間距離を4メートル程度に保ちながら隊列走行を行う。

[隊列走行システム専用の車両仕様]

隊列走行システムの自動運転の制御は、隊列走行システム専用の車両に搭載し、隊列走行システム用コントローラで行う。また、車両は、寸法が全て、全長12メートル、全幅2.5メートルであり、先頭車両にも後続車両にも使用できる。

設問1 隊列走行システムの仕様について、(1)、(2)に答えよ。ここで、隊列走行は、先頭車両を含めた4台のトラックで構成されているものとする。また、1Mビット=10⁶ビットとする。

- (1) 光通信で車車間通信を行った場合、先頭車両がデータの送信を開始してから、最後尾の車両がデータの受信を完了するまでは、最大何ミリ秒掛かるか。答えは小数第2位を四捨五入して、小数第1位まで求めよ。ここで、光通信は、通信周期内で正常に行われ、再送は行われなかったものとする。
- (2) 全車両が一定速度で走行しているとき、先頭車両が6メートル/秒²で減速した。先頭車両の一つ後ろの車両が車車間通信からの情報だけで加速度の目標値を決定したときの処理について、(a)、(b)に答えよ。
 - (a) 先頭車両が減速を開始してから、先頭車両の一つ後ろの車両の隊列制御ECUが関連するECUの制御を開始するまで、最大何ミリ秒掛かるか。答えは小数第2位を四捨五入して、小数第1位まで求めよ。ここで、無線通信による通信は、正常に行われるものとする。また、先頭車両の隊列制御ECUの制御ソフトウェアの処理時間は無視できるものとする。
 - (b) 車間距離が4メートルの場合、車車間通信に異常が発生し、先頭車両が減速を開始してから、先頭車両の一つ後ろの車両の隊列制御ECUが加速度の目標値を決定するまでに500ミリ秒掛かった。このとき、先頭車両とその一つ後ろの車両の車間距離は、何メートルになるか。答えは小数第3位を四捨五入して、小数第2位まで求めよ。

設問2 隊列走行システムの制御について、(1)～(3)に答えよ。

- (1) 先頭車両が速度を変更した場合、後続車両が車間距離を一定に保つために、後続車両の隊列制御ECUが関連するECUの制御に使用する情報を、レーダユニットで測定した前方の車両との距離以外に二つ答えよ。

ネットワークの固有技術からサービス動向まで幅広く精通し、目的に適合した大規模かつ堅牢なネットワークシステムを構築し運用できるネットワークエンジニアやインフラ系エンジニアを目指す方に最適です。

対象者像

高度IT人材として確立した専門分野をもち、ネットワークに関係する固有技術を活用し、最適な情報システム基盤の企画・要件定義・開発・運用・保守において中心的な役割を果たすとともに、固有技術の専門家として、情報システムの企画・要件定義・開発・運用・保守への技術支援を行う者

期待する技術水準

目的に適合したネットワークシステムを構築・維持するため、次の知識・実践能力が要求される。

- (1) ネットワーク技術・ネットワークサービスの動向を広く見通し、目的に応じて適用可能な技術・サービスを選択できる。
- (2) 企業・組織、又は個別アプリケーションの要求を的確に理解し、ネットワークシステムの要求仕様を作成できる。
- (3) 要求仕様に関連するモデリングなどの設計技法、プロトコル技術、信頼性設計、セキュリティ技術、ネットワークサービス、コストなどを評価して、最適な論理設計・物理設計ができる。
- (4) ネットワーク関連企業（通信事業者、ベンダ、工事業者など）を活用して、ネットワークシステムの構築・運用ができる。

試験日	秋期（10月）
合格率	13.6%
（2017年度実績）	

	午前Ⅰ	午前Ⅱ	午後Ⅰ	午後Ⅱ
試験時間	9:30～10:20 (50分)	10:50～11:30 (40分)	12:30～14:00 (90分)	14:30～16:30 (120分)
出題形式	四肢択一	四肢択一	記述式	記述式
出題数 解答数	出題数：30問 解答数：30問	出題数：25問 解答数：25問	出題数：3問 解答数：2問	出題数：2問 解答数：1問

企業活動を支える膨大なデータ群を管理し、パフォーマンスの高いデータベースシステムを構築して、顧客のビジネスに活用できるデータ分析基盤を提供するデータベース管理者やインフラ系エンジニアを目指す方に最適です。

対象者像

高度IT人材として確立した専門分野をもち、データベースに関係する固有技術を活用し、最適な情報システム基盤の企画・要件定義・開発・運用・保守において中心的な役割を果たすとともに、固有技術の専門家として、情報システムの企画・要件定義・開発・運用・保守への技術支援を行う者

期待する技術水準

高品質なデータベースを企画、要件定義、開発、運用、保守するため、次の知識・実践能力が要求される。

- (1) データベース技術の動向を広く見通し、目的に応じて適用可能な技術を選択できる。
- (2) データ資源管理の目的と技法を理解し、データ部品の標準化、リポジトリシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守ができる。
- (3) データモデリング技法を理解し、利用者の要求に基づいてデータ分析を行い、正確な概念データモデルを作成できる。
- (4) データベース管理システムの特性を理解し、高品質なデータベースの企画・要件定義・開発・運用・保守ができる。

試験日 春期 (4月)

合格率 14.5%

(2017年度実績)

	午前 I	午前 II	午後 I	午後 II
試験時間	9:30～10:20 (50分)	10:50～11:30 (40分)	12:30～14:00 (90分)	14:30～16:30 (120分)
出題形式	四肢択一	四肢択一	記述式	記述式
出題数 解答数	出題数：30問 解答数：30問	出題数：25問 解答数：25問	出題数：3問 解答数：2問	出題数：2問 解答数：1問

経営戦略に基づいてIT戦略を策定し、ITを高度に活用した事業革新、業務改革、及び競争優位を獲得する製品・サービスの創出を企画・推進して、ビジネスを成功に導くCIOやCTO、ITコンサルタントを目指す方に最適です。

組込みシステム
の出題あり！

対象者像

高度IT人材として確立した専門分野をもち、企業の経営戦略に基づいて、ビジネスモデルや企業活動における特定のプロセスについて、情報技術を活用して改革・高度化・最適化するための基本戦略を策定・提案・推進する者。また、組込みシステムの企画及び開発を統括し、新たな価値を実現するための基本戦略を策定・提案・推進する者

期待する技術水準

事業企画、業務改革推進、情報化企画、製品・サービス企画などの部門において、情報技術を活用した基本戦略の策定・提案・推進を遂行するため、次の知識・実践能力が要求される。

- (1) 事業環境分析、情報技術動向分析、ビジネスモデル策定への助言を行い、事業戦略を策定又は支援できる。また、事業戦略の達成度を評価し、経営者にフィードバックできる。
- (2) 対象となる事業・業務環境の調査・分析を行い、情報システム戦略や全体システム化計画を策定できる。また、情報システム戦略や全体システム化計画を評価できる。
- (3) 対象となる事業・業務環境の調査・分析を行い、全体システム化計画に基づいて個別システム化構想・計画を策定し、適切な個別システムを調達できる。また、システム化構想・計画の実施結果を評価できる。
- (4) 情報システム戦略や改革プログラム実施の前提条件を理解し、情報システム戦略実現のモニタリングとコントロールができる。また、情報システム戦略実現上のリスクについて、原因分析、対策策定、対策の実施などができる。
- (5) 新たな組込みシステムの開発に関し、関連技術動向、社会的制約・要請、知的財産などの分析結果に基づき、競争力のある組込みシステムを企画するとともに、付加価値、拡張性、柔軟性などを踏まえ、その展開戦略や開発戦略を策定・推進できる。

試験日 秋期 (10月)

合格率 14.7%

(2017年度実績)

	午前Ⅰ	午前Ⅱ	午後Ⅰ	午後Ⅱ
試験時間	9:30～10:20 (50分)	10:50～11:30 (40分)	12:30～14:00 (90分)	14:30～16:30 (120分)
出題形式	四肢択一	四肢択一	記述式	論述式
出題数 解答数	出題数：30問 解答数：30問	出題数：25問 解答数：25問	出題数：4問 解答数：2問	出題数：3問 解答数：1問

システム開発の上流工程を主導する立場で、豊富な業務知識に基づいて的確な分析を行い、業務ニーズに適した情報システムのグランドデザインを設計し完成に導く、上級エンジニアを目指す方に最適です。

組込みシステム
の出題あり！

対象者像

高度IT人材として確立した専門分野をもち、ITストラテジストによる提案を受けて、情報システム又は組込みシステムの開発に必要な要件を定義し、それを実現するためのアーキテクチャを設計し、情報システムについては開発を主導する者

期待する技術水準〔組込みシステム〕

システムアーキテクトの業務と役割を円滑に遂行するため、次の知識・実践能力が要求される。

- (1) 対象とする組込みシステムが用いられる環境条件や安全性などの品質要件を吟味し、実現すべき機能仕様を決定できる。
- (2) 対象とする組込みシステムの機能仕様に基づき、ハードウェアとソフトウェアの適切な組合せを設計し、それぞれの要求仕様としてまとめることができる。
- (3) リアルタイムOSに関する深い知識と汎用的なモジュールに対する知識を有し、ソフトウェア資産の再利用可能性の検討や、適切な活用ができる。

試験日 秋期 (10月)

合格率 12.7%

(2017年度実績)

	午前Ⅰ	午前Ⅱ	午後Ⅰ	午後Ⅱ
試験時間	9:30～10:20 (50分)	10:50～11:30 (40分)	12:30～14:00 (90分)	14:30～16:30 (120分)
出題形式	四肢択一	四肢択一	記述式	論述式
出題数 解答数	出題数：30問 解答数：30問	出題数：25問 解答数：25問	出題数：4問 解答数：2問	出題数：3問 解答数：1問

情報システムや組織に対する脅威や脆弱性を評価し、技術面・管理面での有効な対策を遂行できるセキュリティエンジニアや情報システム管理者を目指す方に最適です。

対象者像 サイバーセキュリティに関する専門的な知識・技能を活用して企業や組織における安全な情報システムの企画・設計・開発・運用を支援し、また、サイバーセキュリティ対策の調査・分析・評価を行い、その結果に基づき必要な指導・助言を行う者

期待する技術水準

情報セキュリティ技術の専門家として、他の専門家と協力しながら情報セキュリティ技術を適用して、セキュアな情報システムを企画・要件定義・開発・運用・保守するため、次の知識・実践能力が要求される。

- (1) 情報システム又は情報システム基盤のリスク分析を行い、情報セキュリティポリシーに準拠して具体的な情報セキュリティ要件を抽出できる。
- (2) 情報セキュリティ対策のうち、技術的な対策について基本的な技術と複数の特定の領域における応用技術をもち、これらの技術を対象システムに適用するとともに、その効果を評価できる。
- (3) 情報セキュリティ対策のうち、物理的・管理的な対策について基本的な知識と適用場面に関する技術をもつとともに、情報セキュリティマネジメントの基本的な考え方を理解し、これを適用するケースについて具体的な知識をもち、評価できる。
- (4) 情報技術のうち、ネットワーク、データベース、システム開発環境について基本的な知識をもち、情報システムの機密性、責任追跡性などを確保するために必要な暗号、認証、フィルタリング、ロギングなどの要素技術を選択できる。
- (5) 情報システム開発における工程管理、品質管理について基本的な知識と具体的な適用事例の知識、経験をもつ。
- (6) 情報セキュリティポリシーに関する基本的な知識をもち、ポリシー策定、利用者教育などに関して、情報セキュリティ管理部門を支援できる。
- (7) 情報セキュリティ関連の法的要求事項などに関する基本的な知識をもち、これらを適用できる。

	午前Ⅰ	午前Ⅱ	午後Ⅰ	午後Ⅱ
試験時間	9:30～10:20 (50分)	10:50～11:30 (40分)	12:30～14:00 (90分)	14:30～16:30 (120分)
出題形式	四肢択一	四肢択一	記述式	記述式
出題数 解答数	出題数：30問 解答数：30問	出題数：25問 解答数：25問	出題数：3問 解答数：2問	出題数：2問 解答数：1問

試験日 春期(4月)・秋期(10月)

合格率 16.7%

(2017年度実績)

平成30年度秋期
情報処理安全確保支援士試験 午後 I 問題

問1 ソフトウェア開発に関する次の記述を読んで、設問1～3に答えよ。

U社は、IoT機器の開発を行う、従業員数400名の企業である。IoT機器のソフトウェアの開発にはC/C++言語を使っている。IoT機器に搭載するOSには、Linuxを利用してきたが、今後はLinux以外も利用する予定である。これまで製品に大きなトラブルはなかったが、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてIoT機器に関するセキュリティリスクが高まると経営層が判断し、開発におけるセキュリティ対策を強化することになった。そこで、開発部のL部長とX主任がセキュリティ対策技術を調査した。

〔メモリ破壊攻撃の概要〕

メモリ破壊脆弱性は、プログラム実行時に、メモリ上にある制御情報を書き換えることによって、実行制御を奪うなどのメモリ破壊攻撃に悪用される。メモリ破壊脆弱性の一種にバッファオーバーフロー脆弱性がある。

例えば、図1に示すプログラムVulnがあったとする。Vulnは、スタックバッファオーバーフロー脆弱性の学習用に作成した、32ビット版Linuxで実行可能なプログラムである。図2はVuln内の関数fooが呼び出された後のメモリマップである。プログラム実行時に、変数bが指し示すデータが不正な場合、そのデータによって、がに書き換えられると、関数fooの終了時にshellコードへ処理が遷移する。しかし、①このような遷移があっても、データ実行防止機能（以下、DEPという）が機能していると、攻撃は成功しない。

攻撃者が、DEPを回避するため、図2中のshellコードへ処理を遷移させる代わりに、中の実行可能なコードや領域にマップされているVulnの断片コードを利用するケースがある。例えば、攻撃の際、を関数の先頭アドレスで書き換えて、攻撃者の意図した関数を呼び出す攻撃もある。

Automatic Fortificationではバッファオーバーフローの原因を排除できないケースがあると分かった。

L部長は次に、表1の技術を適用することによる影響を確認した。その結果、次のことが分かった。例えば、ソースコードに脆弱性があっても、SSPを適用してコンパイルしていると、メモリ破壊攻撃が成立しないが、そのソースコードを③別の開発環境でコンパイルすると問題となる場合があることが分かった。

これらについては、U社内でコーディングスタンダードを定め、それによって対処することにした。検討の結果、U社は表1の技術を全て採用することにした。

設問1 〔メモリ破壊攻撃の概要〕について、(1)～(3)に答えよ。

- (1) 本文中の～に入れる適切な字句を、解答群の中から選び、記号で答えよ。

解答群

ア Return-to-libc	イ ROP
ウ テキスト	エ ヒープ
オ ベースポインタレジスタ保存値	カ ライブラリ
キ リターンアドレスX	

- (2) 本文中のに入れる適切なアドレス値を図2中から選び、㉞～㉟の記号で答えよ。
- (3) 本文中の下線①について、攻撃が成功しない理由を35字以内で述べよ。

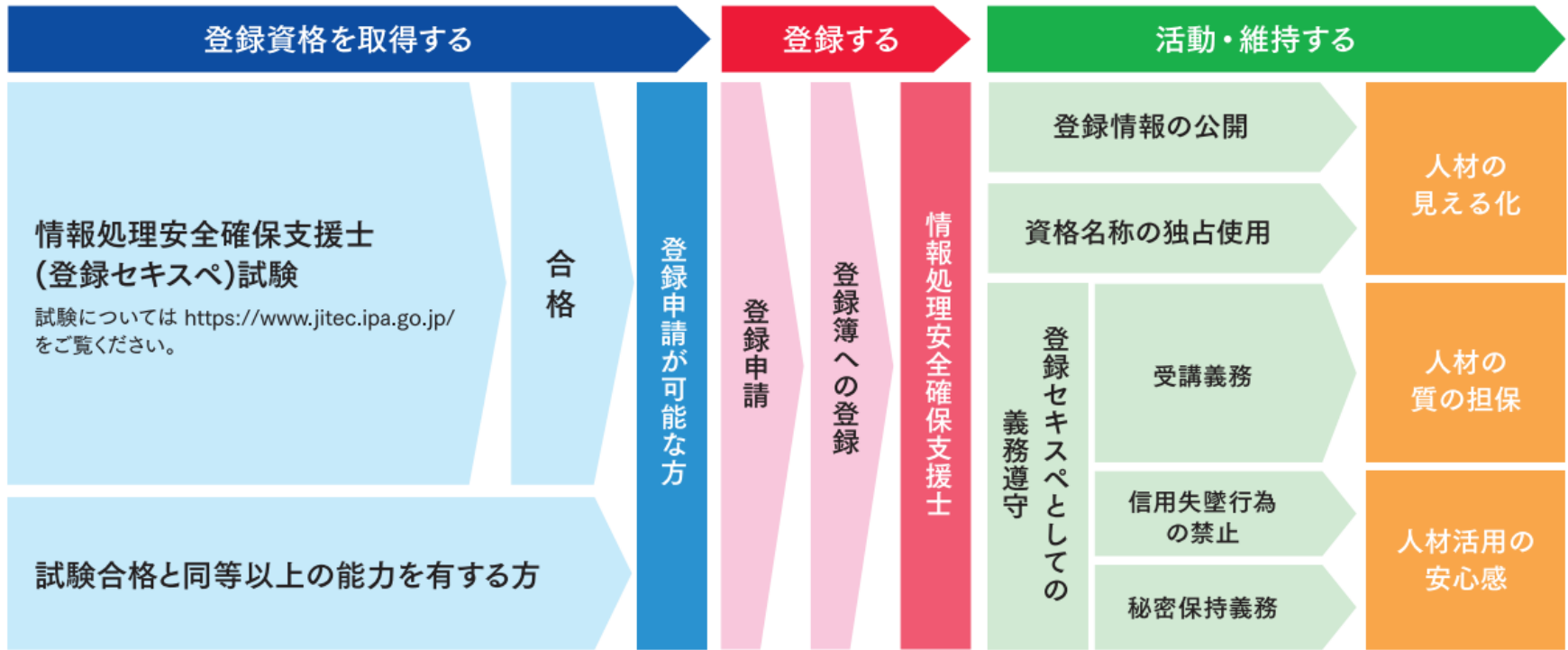
設問2 〔M対策技術の動作概要〕について、(1)、(2)に答えよ。

- (1) 本文中の, に入れる適切な字句を、表1中の用語を用いて答えよ。
- (2) 本文中のに入れる適切なライブラリ関数名を答えよ。

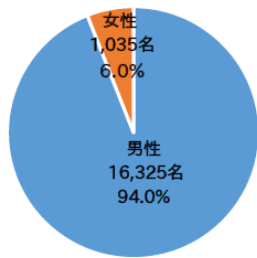
設問3 〔脆弱性対策強化〕について、(1)、(2)に答えよ。

- (1) 本文中の下線②について、図1のプログラムにおいて、排除できないケースに該当する処理を行番号で答えよ。また、排除できない理由を30字以内で述べよ。
- (2) 本文中の下線③について、どのような問題か。また、どのような開発環境の場合に問題となるか。それぞれ25字以内で述べよ。

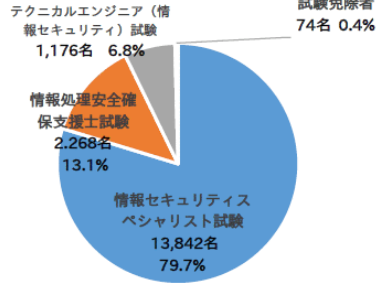
情報処理安全確保支援士制度について



内訳 (男女別)



内訳 (合格試験区分別)



国家資格「情報処理安全確保支援士 (登録セキスペ)」
2018年10月1日付登録人数：合計**17,360名**



“登録セキスペ”
ロゴマーク

【年代別 内訳】※平均年齢は、41.0 歳

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
4	1,322	6,258	7,180	2,380	213	3
0.0%	7.6%	36.0%	41.4%	13.7%	1.2%	0.0%

対象者像

職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識をもち、情報技術に携わる業務に就くか、担当業務に対して情報技術を活用していこうとする者

期待する技術水準

職業人として、情報機器及びシステムの把握や、担当業務の遂行及びシステム化を推進するために、次の基礎的な知識が要求される。

- (1) 利用する情報機器及びシステムを把握するために、コンピュータシステムやネットワークに関する知識をもち、オフィスツールを活用できる。
- (2) 担当業務を理解するために、企業活動や関連業務の知識をもち、また、担当業務の問題把握及び必要な解決を図るために、システム的な考え方や論理的な思考力をもち、かつ、問題分析及び問題解決手法に関する知識をもち。
- (3) 安全に情報を活用するために、関連法規や情報セキュリティに関する各種規定に従って活動できる。
- (4) 業務の分析やシステム化の支援を行うために、情報システムの開発及び運用に関する知識をもち。

試験日 毎月1回～複数回

合格率 50.4%

(2017年度実績)

試験会場 全国約100箇所

(例：東京)

池袋、新宿、代々木、渋谷、田町
御茶ノ水、丸の内、秋葉原、銀座

試験時間 120分

出題形式 四肢択一

出題数 100問

iパスを活用することにより
ITを活用した改善の話し合い
が可能となります。



第4次産業革命に対応したITパスポート試験の改訂

政府は「**未来投資戦略2018**」を閣議決定（2018年6月15日）

首相官邸
Prime Minister of Japan and His Cabinet

総理大臣 記者会見 閣議 国の政策 歴代内閣 資料室

重要閣議トピック・アベノミクス 成長戦略で明るい日本に！

アベノミクス 成長戦略で明るい日本に！

ツイート
(最終更新日：平成30年10月5日)

平成30年6月15日、「Society 5.0」「データ駆動型社会」への変革に向けて、未来投資戦略2018を閣議決定しました。「未来投資戦略2018」では、IoT、ビッグデータ、AI、ロボットなどの第4次産業革命の技術革新を存分に取り込み、「Society 5.0」を本格的に実現するため、各種の施策の着実な実施を図りつつ、これまでの取組の再構築、新たな仕組みの導入を図ります。

新着情報

平成30年10月5日 ・ 未来投資会議（第19回）を開催しました

「未来投資戦略2018－「Society 5.0」「データ駆動型社会」への変革－」について

「未来投資戦略2018－「Society 5.0」「データ駆動型社会」への変革－」が閣議決定されました。（平成30年6月15日）

- 未来投資戦略2018（全体版）
- 未来投資戦略2018（第1 基本的指針と重点施策）
- 未来投資戦略2018（第2 具体的施策）
- 革新的事業活動に関する実行計画
- 未来投資戦略2018 概要（要約版）
- 未来投資戦略2018 概要（全体版）

- ◆ 全ての社会人が持つべき「ITリテラシー」についての基準策定
- ◆ 「ITリテラシー」を認定するために「ITパスポート試験」を拡充
- ◆ 企業の採用選考や従業員の処遇においてAI・IT等に関する能力の反映を促し

http://www.kantei.go.jp.cache.yimg.jp/jp/headline/seicho_senryaku2013.html



IPAプレスリリース（2018年8月6日）<https://www.ipa.go.jp/about/press/20180806.html>

「ITパスポート試験」を改訂（iパス4.0）

～全ての社会人に必要な第4次産業革命に関連した新技術等の出題強化～

iパスの出題範囲、シラバスなどの見直し及び新技術に対応した出題の強化実施（2019年4月の試験から）

情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験のご紹介

試験名称	レベル	試験日	午前	午後	技術水準	合格率 (2017年度)
情報セキュリティマネジメント試験	Lv.2	4月 10月	四択一 50問 (90分)	多岐選択式 3問/3問 (90分)	情報システムの利用部門において情報セキュリティが確保された状況を実現し、維持・改善することができる。	58.4%
基本情報技術者試験	Lv.2	4月 10月	四択一 80問 (150分)	多岐選択式 7問/13問 (150分)	上位者の指導の下、システムの設計・開発・運用、ソフトウェアの開発ができる。	22.1%
応用情報技術者試験	Lv.3	4月 10月	四択一 80問 (150分)	記述式 5問/11問 (150分)	システムの設計・開発・運用・保守において、上位者の方針を理解し、自ら技術的問題を解決できる。	21.0%

試験名称	試験日	午前Ⅰ (50分)	午前Ⅱ (40分)	午後Ⅰ (90分)	午後Ⅱ (120分)	合格率 (2017年度)
プロジェクトマネージャ	4月	四択一 30問	四択一 25問	記述式 2問/3問	論述式 1問/2問	13.1%
システム監査技術者	4月					15.1%
ITストラテジスト	10月			記述式 2問/4問	論述式 1問/3問	14.7%
システムアーキテクト	10月					12.7%
ITサービスマネージャ	10月					記述式 2問/3問

試験名称(スペシャリスト系)	試験日	午前Ⅰ (50分)	午前Ⅱ (40分)	午後Ⅰ (90分)	午後Ⅱ (120分)	合格率 (2017年度)
データベーススペシャリスト	4月	四択一 30問	四択一 25問	記述式 2問/3問	記述式 1問/2問	14.5%
エンベデッドシステムスペシャリスト	4月					17.9%
ネットワークスペシャリスト	10月					13.6%
情報処理安全確保支援士	4月 10月					16.7%

情報処理技術者試験の詳細についてはWebサイトにて紹介しております。
受験の申込みもWebサイトからできます。ぜひ、ご覧ください。

■ 情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験

<https://www.jitec.ipa.go.jp/index.html>



■ ITパスポート試験

<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

